

ワークショップ参加同意書

〔ワークショップ主催者名：山下圭介〕（以下「主催者」という。）が開催する下記ワークショップへの参加にあたり、参加者は、本同意書の内容を確認し、これに同意のうえ参加するものとします。

第1条（ワークショップの表示）

本同意書の対象となるワークショップの概要は、以下のとおりとします。

1. 名称

〔ワークショップ名〕「自分の形、色をつくってみよう」

2. 開催日時

〔開催日〕2026年6月27日（土）、28日（日）、7月5日（日）

3. 開催場所

〔会場名・住所〕北翔大学/札幌円山キャンパス（6月27日（土）、28日（日）会場）
北海道札幌市中央区南1条西2丁目1-1 北方圏学術情報センターギャラリーA

眺望ギャラリーテラス計画（7月5日（日）会場）
札幌市中央区北2条西4丁目1 赤れんがテラス5階

4. 内容

〔制作、体験の内容〕

500m美術館/アーティストと市民によるワークショップ展の企画にワークショップ参加者の作品とワークショップ主催の作家(山下圭介)の作品を展示します。

ワークショップの内容

- ・木の板を削りながら木版を作り、色をつけ紙に刷る。
- ・同じ木版に再び削り加工と色つけを行い、再び紙に刷る工程を繰り返す。
- ・偶然現れる形や色層によって生まれる予想できない色を楽しみながら作品を制作する。

5. 主催者

ワークショップ主催者：山下圭介

展覧会主催者：500m 美術館、有限会社クンスト/CAI 現代芸術研究所/CAI03、一般社団法人PROJECTA

第2条（同意の目的）

本同意書は、参加者がワークショップに参加するにあたり、参加条件、遵守事項、安全管理、責任範囲、撮影・記録、個人情報の取扱いその他必要な事項を明確にすることを目的とします。

第3条（参加申込みおよび参加資格）

1. 参加者は、主催者が定める方法により参加申込みを行い、主催者がこれを受理した時点で参加資格を取得するものとします。
2. 主催者は、ワークショップの性質、対象年齢、経験の有無、健康状態、定員その他合理的な基準に基づき、参加申込みを承認しないことがあります。
3. 未成年者が参加する場合には、法定代理人の事前同意を要するものとし、主催者が求めた場合には、別途所定の承諾書を提出するものとします。
4. 参加者は、申込時に主催者へ提供した情報が真実かつ正確であることを保証するものとします。

第4条（参加費用）

1. 参加者は、ワークショップへの参加にあたり、主催者が別途定める参加費、教材費、材料費、機材使用料その他の費用がある場合には、所定の期限までに支払うものとします。
2. 参加に要する交通費、宿泊費、通信費その他の実費は、特段の定めがない限り参加者の負担とします。
3. 支払済みの費用の返金可否、返金条件および返金方法については、主催者が別途定める案内、申込ページ、規約または個別通知に従うものとします。

第5条（健康状態および参加適性）

1. 参加者は、自己の責任において心身の状態を確認し、ワークショップへの参加に支障がない状態で参加するものとします。
2. 持病、既往歴、アレルギー、妊娠中であること、服薬状況、身体的または精神的配慮を要する事情その他安全管理上重要な事項がある場合、参加者は、事前に主催者へ申告するものとします。
3. 主催者は、前項の申告内容、当日の体調、行動状況その他の事情に照らし、参加者本人または他の参加者の安全確保のため必要があると判断した場合、参加の全部または一部を制限し、または参加を中止させることができるものとします。
4. 参加者が自己の健康状態を適切に申告しなかったことにより生じた不利益または損害について、主催者は、自己に故意または重過失がある場合を除き、責任を負わないものとします。

第6条（遵守事項）

参加者は、ワークショップ参加中、次の各号を遵守するものとします。

1. 主催者、講師、スタッフその他運営関係者の指示および注意事項に従うこと
2. 会場設備、備品、教材、器具、機材その他を善良な管理者の注意をもって使用すること
3. 他の参加者、講師、スタッフその他第三者の生命、身体、財産、名誉、信用、プライバシーその他の権利利益を侵害しないこと
4. 危険行為、妨害行為、暴言、暴力、差別的言動、迷惑行為その他円滑な運営を妨げる行為をしないこと
5. 飲酒、薬物使用その他正常な参加が困難となる状態で参加しないこと
6. 主催者の事前承諾なく、会場内での営業行為、勧誘行為、宗教活動、政治活動、物販行為その他これらに類する行為をしないこと
7. 主催者が禁止する撮影、録音、録画、配信、複製、転載その他の行為をしないこと
8. 法令、公序良俗および会場管理者の定める規則に違反しないこと

第7条（禁止事項違反等に対する措置）

1. 参加者が前条その他本同意書に違反した場合、主催者は、事前の催告なく、注意、退場措置、参加停止、今後の参加拒否その他必要な措置を講じることができるものとします。
2. 前項の場合において、主催者は、参加費その他既払金の返金義務を負わないものとします。
3. 参加者の違反行為により主催者、他の参加者または第三者に損害が生じた場合、当該参加者はその損害を賠償するものとします。

第8条（安全管理および事故対応）

1. 主催者は、ワークショップの内容に応じ、合理的な範囲で安全配慮に努めるものとします。
2. 参加者は、ワークショップが講義型であるか実技型であるかを問わず、転倒、接触、機材操作、工具使用、材料取扱い、移動中の事故、体調不良その他予期しない危険を伴う場合があることを理解し、自己の注意と責任において参加するものとします。
3. 参加者は、自己または他者に危険が生じ、またはそのおそれがあると認識した場合には、直ちに主催者またはスタッフへ申し出るものとします。
4. 主催者は、急病、負傷、災害、事故その他緊急の事態が発生した場合、救急搬送、医療機関への連絡、緊急連絡先への通知その他必要と判断する対応を行うことができるものとします。
5. 前項に基づく対応に要する医療費、搬送費、交通費その他の費用は、法令上別段の定めがある場合を除き、参加者の負担とします。

第9条（主催者の責任範囲）

1. 主催者は、ワークショップの運営に関し、自己に故意または重過失がある場合を除き、参加者に生じた損害について責任を負わないものとします。
2. 主催者が責任を負う場合であっても、その賠償範囲は、主催者の債務不履行または不法行為により通常生ずべき

直接かつ現実の損害に限られるものとし、逸失利益、間接損害、特別損害および精神的損害については、主催者に故意または重過失がある場合を除き、責任を負わないものとします。

3. 参加者の故意、過失、体調不良、持病、指示違反、ルール違反、第三者との紛争、携行品の管理不備その他参加者の責めに帰すべき事由により生じた損害について、主催者は責任を負わないものとします。

4. 天災地変、感染症の流行、交通機関の停止、会場都合、行政指導、講師の急病、通信障害、機材故障その他主催者の合理的支配を超える事由によりワークショップの全部または一部が中止、延期、変更となった場合、主催者は、自己に故意または重過失がある場合を除き、これにより参加者に生じた損害について責任を負わないものとします。

第 10 条（携行品・貴重品の管理）

1. 参加者は、自己の携行品、貴重品、制作物、記録媒体その他の物品を自己の責任で管理するものとします。

2. 盗難、紛失、破損、取り違えその他について、主催者は、自己に故意または重過失がある場合を除き、責任を負わないものとします。

第 11 条（撮影・録音・記録物の取扱い）

1. 主催者は、ワークショップの運営記録、広報、報告、アーカイブ、次回募集、広告宣伝、SNS 掲載、ウェブサイト掲載、パンフレット制作その他主催者の事業に関連する目的のため、会場内において写真撮影、動画撮影、録音その他の記録を行うことがあります。

2. 参加者は、前項の記録に自己の肖像、音声、発言、制作風景その他が含まれる場合があることを了承するものとします。

3. 主催者は、前二項の記録物を、期間、地域、媒体の制限なく、無償で利用できるものとします。ただし、参加者の名誉、信用またはプライバシーを不当に侵害する態様で利用してはならないものとします。

4. 参加者が主催者による撮影または利用を希望しない場合には、参加前までに主催者へ申し出るものとします。主催者は、合理的な範囲で配慮に努めますが、会場全体の記録映像等について完全な排除を保証するものではありません。

5. 参加者が主催者の事前承諾なく、他の参加者、講師またはスタッフを撮影、録音、録画し、またはこれをインターネットその他に投稿、配信、公開してはならないものとします。

第 12 条（成果物・知的財産権）

1. ワークショップにおいて主催者または講師が提供するレジュメ、教材、映像、音声、図表、写真、デザイン、ノウハウ、カリキュラム、実演内容その他一切の資料および情報に関する著作権その他の知的財産権は、主催者または正当な権利者に帰属するものとします。

2. 参加者は、前項の資料等を自己学習または自己利用の範囲を超えて、複製、転載、改変、配布、公衆送信、上映、販売その他の利用をしてはならないものとします。

3. ワークショップの過程で参加者が作成した成果物の権利帰属については、別段の定めがある場合を除き、当該参加者に帰属するものとします。ただし、主催者は、ワークショップ運営、記録、広報および実績紹介の目的の範囲で、参加者の成果物を無償で撮影、掲載または紹介できるものとします。

4. 第三者の著作権、商標権、肖像権その他の権利を侵害する素材、作品、データまたは情報を参加者が持ち込み、使用し、または提出したことにより紛争が生じた場合、当該参加者が自己の責任と費用において解決するものとします。

第 13 条（個人情報の取扱い）

1. 主催者は、参加申込み、本人確認、連絡、緊急対応、運営管理、参加履歴管理、アンケート集計、今後の講座案内その他ワークショップ運営に必要な範囲で、参加者の個人情報を取得し、利用するものとします。

2. 主催者は、法令に基づく場合を除き、本人の同意なく個人情報を第三者に提供しないものとします。ただし、救急搬送、緊急連絡、会場管理、業務委託その他利用目的達成に必要な範囲で第三者に提供または委託する場合はこの限りではありません。

3. 主催者は、取得した個人情報について、漏えい、滅失または毀損の防止その他適切な安全管理措置を講ずるよう努めるものとします。

4. その他の個人情報の取扱いについては、主催者が別途定めるプライバシーポリシーによるものとします。

第 14 条（ワークショップ内容の変更・中止）

1. 主催者は、やむを得ない事情がある場合、ワークショップの日時、場所、講師、内容、進行方法、定員その他を変更することができるものとします。

2. 主催者は、前項の変更または中止を行う場合、可能な限り事前に参加者へ通知するものとします。

3. 変更または中止に伴う返金、振替、代替実施その他の取扱いについては、主催者がその都度合理的に定めるものとします。

第 15 条（参加者によるキャンセル）

1. 参加者が参加を取りやめる場合には、主催者が定める方法により、速やかに連絡するものとします。
2. キャンセルに伴う返金の有無、返金額および手数料の取扱いについては、主催者が別途定めるキャンセルポリシーによるものとします。

第 16 条（反社会的勢力の排除）

1. 参加者は、自らが暴力団、暴力団員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動等標榜ゴロ、特殊知能暴力集団その他これらに準ずる者に該当しないこと、およびこれらと関係を有していないことを表明し、保証するものとします。
2. 参加者が前項に違反した場合、主催者は何らの催告を要せず、参加を拒否し、または退場させることができるものとします。

第 17 条（協議事項）

本同意書に定めのない事項または本同意書の解釈に疑義が生じた場合には、参加者と主催者は、誠実に協議のうえ解決するものとします。

第 18 条（準拠法および管轄）

本同意書は日本法に準拠し、日本法に従って解釈されるものとします。本同意書またはワークショップ参加に関して紛争が生じた場合には、主催者の本店所在地を管轄する地方裁判所または簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

私は、上記ワークショップ参加同意書の内容を確認し、これに同意のうえ参加します。

同意日： 年 月 日

参加者氏名： _____

住所： _____

電話番号： _____

メールアドレス： _____

未成年者の場合の法定代理人記入欄

法定代理人氏名： _____

参加者との関係： _____

住所： _____

電話番号： _____

署名： _____